令和8年熊本地震等被災者支援のための

ボランティア活動 支援金 ご協力のお願い

～みんなのえがおがみたいから～

令和８年熊本地震等で被災された方々を支援するため、
みえ災害ボランティア支援センターを設置しています。
そこで、ボランティア活動を支援するために必要な資金のご協力をお願いします。

募集目標金額　1,000万円

企業・団体等からの支援金　700万円

個人からの支援金　300万円

支援金の活用状況や支出については、活動報告書、ホームページ等で報告させていただきます。

募集させていただく支援金の使い方

〇ボランティアや NPO 等が被災者支援のためのボランティア活動を行う際の活動費の助成

〇被災者支援活動を行うボランティアに対する情報提供をするための活動費

〇被災地の状況を把握し、関係者と連携・調整するための活動費

〇上記の活動を行うために必要な事務局運営費　等

※支援金の残金が出た場合には、今後の被災者支援活動や、災害時に備えた受援力強化等の取組に活用させていただきます。

支援金受付　※銀行振込、またはご持参ください。

【募金方法】

≪銀行振込≫　百五銀行（０１５５）津駅前支店（５０２）　普通　９０９１１３
口座名　みえ災害ボランティア支援センター　センター長　山本康史

≪ご持参の場合≫　※受付時間：平日8時30分から17時15分まで
津市羽所町７００　アスト津３階 みえ県民交流センター内
みえ災害ボランティア支援センター
（事務局：三重県環境生活部ダイバーシティ社会推進課 NPO 班）

募 集 期 間
令和9年3月31日まで

みえ災害ボランティア支援センター　e-mail:mvsc.jimukyoku@gmail.com

５１４-０００９　三重県津市羽所町７００　アスト津３階 みえ県民交流センター内
お問い合わせ：ダイバーシティ社会推進課 NPO 班　電話 ０５９－２２２-５９８１
みえ市民活動ボランティアセンター　電話 ０５９－２２２-５９９５
（ 平日９時から２０時まで　/　土日祝９時から１８時まで ）
HP　https://mvsc.jp　facebook ページ　https://www.facebook.com/mvsc0311

みえ災害ボランティア支援センター

■みえ災害ボランティア支援センターの基本理念

地震や水害などで被災した方が、あたり前の生活を送れるようになるために
ボランティア・NPO 団体や三重県で活躍する企業、大学・学校、行政等が協働して
三重県民による多様なボランティア活動を盛りあげていきます

■みえ災害ボランティア支援センターが大切にする5つの基本原則

みえ災害ボランティア支援センターは5つの基本原則に従って活動します。

1. 被災した場所や状況によることなく、また、年齢、性の自認、国籍等を問わず全てのひとを支援し、地域社会や文化、自然を大切にします
2. 常に被災者、被災地主体の考え方に立ち、被災者や被災地が自立した復興を果たせるような支援活動を行います
3. 三重県民や県内の企業、大学や学校、ボランティア・NPO団体等が取り組むボランティア活動を、信条や活動方針、団体の成り立ちを問わず支援します
4. ボランティア活動が被災者・被災地にとって最大限の効果を発揮できるよう、その活動の主体となる団体・個人と共に努力し続けます
5. センターに関わる団体や個人がお互いの行動倫理を尊重し、被災者の自立を支援するという基本理念を共有して、協働で事業を実施します

■みえ災害ボランティア支援センターとは

災害発生時に設置され、以下の幹事団体により官民協働で運営されます。

- ●特定非営利活動法人　みえ防災市民会議
- ●特定非営利活動法人　みえNPO ネットワークセンター
- ●三重県ボランティア連絡協議会
- ●公益社団法人　日本青年会議所東海地区三重ブロック協議会
- ●日本赤十字社　三重県支部
- ●社会福祉法人　三重県社会福祉協議会
- ●三重県（防災対策部　災害対策推進課、子ども・福祉部　地域福祉課、環境生活部　ダイバーシティ社会推進課）

令和6年能登半島地震支援災害ボランティア活動支援金にかかるご報告

令和6年1月12日（金）～令和7年3月31日（月）まで募集した令和6年能登半島地震被災者支援のためのボランティア活動支援金は、

合計　2,928,033円　※最終決算額

団体からの支援金は　2,220,033円
個人からの支援金は　708,000円

となり、ご寄付いただいた支援金は、NPO・団体や個人の方々が被災者支援のためのボランティア活動を行う際の活動費や交通費の助成、みえ災害ボランティア支援センター運営費等に活用させていただきました。

詳しくは HP 掲載の活動報告書をご覧ください＞＞

